



▲一般の部最優秀賞
「期間限定 歯抜けスマイル」

「第4回 ふれあいフォト コンクール」最優秀賞

「第4回ふれあいフォトコンクール」におきまして、投票により一般の部・小中学生の部の最優秀賞に輝きました作品をご紹介します。

一般の部最優秀賞

岩間 哉恵さん「期間限定 歯抜けスマイル」

小中学生の部最優秀賞

坂脇 康牙さん「4兄弟!!!!」

おめでとうございます!

▼小中学生の部最優秀賞「4兄弟!!!!」



別海町社協だより

ふれあいネットワーク

2023年1月

ふれあい

No.142号

Contents

- | | |
|-----------------------|------------------|
| ■ 令和5年 新年のご挨拶 | ■ 別海町ボランティア研修会報告 |
| ■ 地域(こども)食堂立上げ支援研修会報告 | ■ 介護職員初任者研修修了報告 |
| ■ べつかい安心サポートセンターご案内 | ■ 寄付金報告 |
| ■ 福祉出前講座実施報告 | ■ 収集ボランティアお礼 |
| ■ 別海町共同募金委員会共同募金活動報告 | ■ コカ・コーラ社寄贈 他 |



表紙の写真とコメントを
募集しております

写真に人物が写っている場合は、ご本人の承諾を得たうえで投稿してください。(投稿者名はペンネームやイニシャルでも構いません) 投稿いただける方は、社会福祉協議会事務局までご連絡ください。お待ちしております。

発行 社会福祉法人 別海町社会福祉協議会

〒086-0202 北海道野付郡別海町別海旭町149番地1
別海町生涯学習センター内

TEL 0153-75-2148/FAX 0153-75-0457

ホームページURL: <https://shakyo-betsukai.com/>



社協だより「ふれあい」は赤い羽根共同募金の一部助成を受けて発行しています



令和5年 新年のご挨拶

別海町社会福祉協議会 会長 山口 長 伸

**令和の世早くも五年迎え来
て世界平和と幸福祈願**

別海町社会福祉協議会を代表し、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。別海町民の皆様方には、輝かしく、夢と希望に満ちあふれた新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

昨年はロシアによるウクライナ侵攻、北朝鮮のミサイル発射、米中関係の悪化等、世界の平和と人類の幸福を脅かす出来事が多い年でした。今年は、そんな福祉とは相反する争いの解決を強く望むばかりです。

**赤い羽根そして歳末助け合
い共同募金善意に感謝**

毎年秋から年末にかけて、赤い羽根と、歳末助け合い共同募金運動が展開されます。その浄財は、共同募金会から別海町社会福祉協議会の審査を経て、恵まれない家庭へ見舞金・支援金として手渡されます。少額ではありますが、町民の皆様方の善意が詰まったお金です。別海町民の心温まる多額の浄財は、根釧地区

他市町村社協から、羨望の眼差しを向けられています。

**二年後は後期高齢者が増え
て福祉の課題山積の今**

我が国は、「少子高齢化社会」と呼ばれ、本町も2年後の「2025年問題」に備えておくことが急務です。これは、終戦直後の昭和22年から24年に生まれた人が、2年後、全員、後期高齢者になるという事実です。俗に「第一次ベビーブーム世代・団塊の世代」と呼ばれる、我が国の人口最多世代です。

**認知症独り暮らしのお年寄
り増える予想で課題は重く**

75歳以上の後期高齢者の半数が、認知症や独り暮らしになるという予想が、別海町でも現実になって来ています。これからは、何と言っても認知症や独り暮らしの方、本人の身近にいる人の手助けが重要です。

**我が町の社会福祉は住民の
助け合いから相互扶助へと**

我が国の多くの人々は、昔から「向こう三軒両隣」「遠くの親戚より近くの他人」の考えを持ち、助け合う心を大切にしていきます。昨年開催されたワールドカップサッカー大会では、試合後の観客席で「ゴミ拾いをした日本人が、世界中から絶賛されました。本町でも、各種ボランティアや、小地域ネットワーク、町内会ふれあいサポーターなどの市民運動が起きています。別海高校では「ボランティア局」が活発化し、小・中学校でもリングブルの回収や、募金運動が実施されています。「子ども食堂」が、西春別駅前地区から起り、別海地区にもできました。そんな支え合いや助け合いが、全町に拡大する一年になることを期待しています。

**ウサギ年声聴く耳を鋭くし
行動速く脱兎の如く**

本年もよろしくお願い申し上げます

会長	山口 長 伸	理事	臼 田 誠 治	理事	菅 田 節 子	理事	棚 橋 昌 博	理事	中 澤 豊 子	理事	島 崎 裕	理事	山 崎 宏	常務理事	鈴 木 秋 弘	監事	小 椋 と も よ	監事	南 條 裕 二	評議員	今 野 健 一	評議員	佐 藤 富 士 雄	評議員	清 水 浩 光	評議員	中 山 恵 子	評議員	橋 本 淳 一	評議員	降 旗 和 人	評議員	松 倉 穂 子	評議員	三 原 眞 佐 子	評議員	山 田 志 保 子
----	--------	----	---------	----	---------	----	---------	----	---------	----	-------	----	-------	------	---------	----	-----------	----	---------	-----	---------	-----	-----------	-----	---------	-----	---------	-----	---------	-----	---------	-----	---------	-----	-----------	-----	-----------

「地域（こども）食堂立上げ支援研修会を実施」

11月22日（火）、地域（こども）食堂実践者や興味のある方を対象に、活動の後押しとなるよう、また、別海町における活動の発展を目的に「地域（こども）食堂立上げ支援研修会」を実施し、8名が参加しました。

今回の研修会は、「講話」と「地域（こども）食堂実施体験」を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、実施体験は見送りました。

研修の講師に「きずなネットワーク（釧路町）」代表の加藤眞緒さんと、「西春別駅前こども食堂すまいる」代表の菅野笑子さんをお招きしました。

加藤さんによる「きずなネットワーク活動事例」では、設立から現在に至るまでの活動で見えた課題や今後の活動に向けた展望、活動を長く続けていくための心得をお話いただきました。

次に菅野さんからは「西春別駅前こども食堂すまいる」の活動事例を中心に、料理を提供するために必要な保健所への手続きや、料理を作る際の注意点などについて

学びました。

講師両名の活動者の視点による講話に、参加者の皆さんも熱心に聞き入っていました。

研修の最後には、別海市街地において活動を展開している「だんらんの会 大きな木」を紹介しました。

参加者の皆さんは、日ごろから子どもと関わる活動を行っている方が多く、こども食堂活動の講話を通じて、それぞれの活動のヒントを得られる、有意義な研修会となりました。



「西春別駅前こども食堂すまいる」の菅野さん

「判断力が十分でない方の権利や財産を守るために」

ご相談は「べつかい安心サポートセンター」へ



10月21日開催「市民後見人フォローアップ研修」

べつかい安心サポートセンターは認知症や知的・精神障がい等により判断力が十分でない方の権利や財産を守るため、成年後見制度に関する相談対応、普及啓発、申立て等支援、担い手の要請・実務研修、関係機関との連携・調整などを行っています。ホームページもご覧ください。

【問合せ】別海町社会福祉協議会
べつかい安心サポートセンター

TEL 0153-751-2148

※相談日をご予約ください

11月4日別海町町内会連絡協議会「役員・町内会長研修」3年ぶり開催

別海町生涯学習センターで27名が出席し、別海町町内会連絡協議会（山口長伸会長）の研修が開かれました。

初めに曾根興三町長より「これからの行政運営」と題し、財政問題、高齢者福祉、産業対策、防災対策まで幅広く、町の方針と取り組みについて説明・報告いただきました。

住民には基本のコロナ感染対策をお願いし、これからも住民同士支え合い、労り合い、街づくりに参加していただきたいと話されました。

その後、

中春別町内会 降旗和人会長より、コロナ禍でも工夫して取り組んだ町内会活動について、町内会だよりを用いて発表されました。



福祉出前講座を実施しました

①手話体験

6月23日、上春別小学校3・4年生を対象に、手話体験を実施しました。

手話の会の皆さんのご協力のもと、手話での自己紹介や手話歌を練習しました。

体験を通して、聴覚障がいについて理解を深めることができました。



手話体験

②災害について

7月12日、7月14日の2日間、上春別小学校5年生を対象に、災害時の備えについて学習しました。

例年実施している宿泊学習の一環として実施したもので、包装食袋を

使ったカレーの調理方法のほか、LEDライトを使ったランタンの効果

や、新聞紙スリッパ、紙食器の作り方を学びました。

紙食器づくりでは、実際に使いやすいように各自でアレンジしており創意工夫が見られました。



紙食器づくり



包装食カレーの試食

③高齢者について

11月29日、上春別小学校5・6年生を対象に、高齢者について学習し

ました。

初めに高齢化するとどのような変化が起こるのか学習し、そのあとで実際に高齢者疑似体験セットを着用し体育館内の体験コースを歩き、また、普段通学で歩き慣れている校庭で車イス体験を実施しました。

高齢者の方がどのようなところに不便さを感じるのか、どのような支援を必要としているのか身をもって知ることができました。

不便さを感じるのか、どのような支援を必要としているのか身をもって知ることができました。



車イス体験



高齢者疑似体験

④認知症について

12月9日、中春別中学校3年生を

対象に認知症について理解を深める学習をしました。

生徒の皆さんにとって、これまで他人事だと思っていた「認知症」について、もし家族が認知症になったら、生活がどのように変化するのか議論しました。

生徒の皆さんは、認知症という病気について深く考える貴重な時間となりました。



認知症について学習

社会福祉協議会ではコロナウイルス感染症予防対策をとりながら、できるかぎり地域の皆様の要望に応じた福祉出前講座を開催していますので、ご希望される方は別海町社会福祉協議会までご相談ください。

令和4年度 赤い羽根共同募金実績報告

12月20日
現在

10月1日より実施している「赤い羽根共同募金運動」に、町民の皆様、企業、学校、老人クラブ、街頭募金、募金箱など、たくさんの方の募金をお寄せいただき誠にありがとうございました。

お寄せいただいた募金は、北海道共同募金会に納めた後、審査委員会を経て、令和5年度に福祉団体や施設等へ助成し、地域福祉の様々な事業に活用させていただきます。

また、12月1日より実施した歳末たすけあい運動では、職域・団体から多くのご協力をいただきました。

寄せられた歳末たすけあい募金により、「歳末見舞金」を町内の要保護世帯14世帯、障がい者グループホーム、小規模作業所、児童デイサービス、小規模施設や別海町特別支援学級合同事業運営

委員会へ、また、「児童生徒進学（就職）支援金」を17世帯へ届けることができました。



令和4年度 赤い羽根共同募金実績中間報告

令和4年12月20日現在

実績額 3,045,140円
目標額 4,000,000円
達成率 76.13%

《内 訳》

募金種別	件数	金額
戸別	2,216件	1,468,937円
街頭	2件	29,496円
法人	257件	1,285,500円
学校	7件	33,321円
募金箱	43件	53,575円
団体・その他	18件	174,311円
合計	2,543件	3,045,140円

令和4年度 地域歳末たすけあい募金実績中間報告

令和4年12月20日現在

実績額 193,007円
目標額 920,000円
達成率 20.98%

《内 訳》

募金種別	件数	金額
職域	2件	20,338円
団体・その他	8件	172,669円
合計	10件	193,007円

赤い羽根共同募金街頭募金を実施しました

共同募金運動の一環として、別海市街地区と西春別駅前地区で街頭募金活動を行いました。

昨年に引き続きコロナ禍での活動となりましたが、たくさんの方のご厚意が集まりました。

ご協力いただきました皆様、また、場所を提供いただきましたフクハラ別海店様、コープさっぽろべつかい店様、Aコープ西春別店様、別海町生涯学習センター様、ありがとうございました。



西別赤十字奉仕団による募金活動



別海町共同募金委員会第6分団(西春別駅前)の皆さん

歳末たすけあい募金へのご協力ありがとうございます

(12月20日現在)

別海季節労働組合様
JA中春別女性部様
西春別駅前郵便局様
町立別海病院事務局様
別海北の勝を愛する会様

野付漁業協同組合女性部様
別海連合町内会女性部様
西別赤十字奉仕団様
別海漁業協同組合女性部様
西春別駅前連合町内会女性部様

令和4年度 別海町ボランティア センター研修会を 開催しました

10月15日(土)に別海町生涯学習センター会議室にて、令和4年度別海町ボランティアセンター研修会を行いました。

今回の研修では、フードディレクターの貫田桂一氏を講師に迎え、「別海町・べつせかい de 防災グルメ」と題して、備蓄用食料の定期的な入れ替え(ローリングストック)の際の活用方法や、災害時の調理方法などを学びました。



身近な防災食のアレンジレシピなどを教わり、別海町の防災食として、ご家庭にある別海町の食材(牛乳・チーズ・あさり・ホタテなど)で作る別海町海鮮ミルクパエリアを提案しました。

最後はじゃんけん大会も開催し、講師から美味しい塩のプレゼントをいただき、楽しく有意義な研修会となりました。

介護職員初任者 研修講座修了

8月7日から11月30日までの約4か月にわたり、町内の介護職員の充実と家庭での介護技術・知識の向上を図ることを目的として開催し、7名が受講しました。

講座期間中は、新型コロナウイルスの感染拡大により対面での実技講習が困難な中、オンライン会議システムZOOMを活用して講義を実施してきました。

受講生7名全員が修了試験に合格し、町内の介護施設で講座で学んだことを生かして働いています。



根室地区 身体障がい者福祉協会 スポーツ交流会に 参加しました

10月28日、管内の会員42名が集まりました。

コロナ対策のマスクと消毒がすっかり生活の一部となりましたが、ひさびさにあつまり、4チームに分かれて「ボッチャ」を競技しながら交流を深めました。



別海町身体障がい者福祉協会は会員を募集しています。

興味のある方は事務局(別海町社会福祉協議会内)までご連絡ください。

Tel 0153-75-2148

資金貸付事業の ご案内

貸付以外の困りごとのご相談も受け付けます。必要な関係機関と連携し、問題解決の方法とともに考えます。(秘密は厳守します)

○生活福祉資金

経済的自立と

生活の安定のために

他の貸付制度が利用できない低所得・障がい・高齢者の世帯対象。種類は、福祉資金・教育支援資金、総合支援資金があります。

※資金ごとに要件が異なり、事後申請は対象外です。民生委員・社協・関係機関が相談・支援にあたります。

○別海町愛情銀行資金

緊急、または不時の出費により困窮する世帯を対象に無利子で5万円まで貸付を行います。

相談機関と連携し必要な支援を行います。

【問合せ】別海町社会福祉協議会 貸付担当

Tel 0153-75-2148

・電話で相談の予約をお願いします。

・社協ホームページでもご覧ください。

ご寄付ありがとうございました

令和4年9月1日～令和4年11月30日

(敬称略)

三宅 嘉江 (別海宮舞町)
関口 吉一 (床丹)
大條 靖子 (上春別)
塩見 善美 (西春別駅前西町)
山田ひろみ (美原)
北浦 香 (上春別旭町)
佐藤美江子 (西春別駅前曙町)
佐藤 吉雄 (西春別)
吉川香奈子 (別海常盤町)
山室 賢一 (別海川上町)
西村 暢 (走古丹)
宮坂 修二 (西春別駅前曙町)
大内 暢子 (別海川上町)
神部久美子 (中西別)
阿部アサ子 (上春別)

須藤美佐子 (尾岱沼潮見町)
和泉 典子 (別海)
馬場 良市 (別海)
水本サダ子 (豊原)
尾上 文明 (別海)
須郷あけみ (別海旭町)
今井 真人 (中西別)
渡辺 久利 (別海旭町)
太田 公一 (中西別)
細谷 博之 (上春別)
谷道 和子 (西春別昭栄町)
佐々木静江 (別海新栄町)
住友 一雅 (西春別駅前栄町)
勝木 翔 (尾岱沼潮見町)

一足早くクリスマスプレゼント! コカ・コーラ社より 別海町社協に寄贈



北海道コカ・コーラボトリング(株)中標津営業所様より飲料10ケースを寄贈していただきました。

町内の児童館、福祉施設等にお届けし、大変喜んでいただきました。

北海道コカ・コーラボトリング(株)中標津営業所様、ありがとうございました!

リングプルを寄贈 いただきましたありがとうございました

別海町ボランティアセンターで取り組んでいる収集活動に多くのご協力をいただきありがとうございます。寄せられたリングプルは必要量に達すると福祉用具に交換し、社会福祉協議会にて必要としている方へ無償で貸出しています。

リングプル

○相澤美代子様
○内澤 彰市様
○青木 圭子様
○根室地区郵便局長
婦人会別海部会様
○東公民館様
○春別寿会様



ボランティア活動 してみませんか?

○自分の特技を生かして、ボランティア活動してみませんか?
ボランティア登録していただければ、地域の力になります。

ボランティア活動を通じてさまざまな経験をすることで、人や社会、新しい自分に気づくことができます。様々な人たちと知り合い、協力しあうことで、人との繋がりを広げることができます。

「空いている時間に活動してみたい」「ボランティアには興味はあるけど、どんなボランティアがあるの?」「気になっている団体があるんだけど…」ぜひお気軽にご相談ください。

ご希望にあつたボランティア団体をご紹介します。

○ボランティアが必要な行事はありませんか?

ボランティア登録されている方への紹介や、別海町ボランティアセンターだより等に掲載してボランティアを募集することができます。

ボランティアセンターだよりは、6月・9月・3月に発行しています。

【問合せ】

別海町ボランティアセンター
(別海町社会福祉協議会内)

「別海町ケアハウスみどり野」の入居者を募集します

- 入居要件
1. 自炊ができない程度の身体機能の低下、または独立して生活するには不安が認められる方で家族の援助を受ける事が困難な方。
 2. 年齢が原則として60歳以上の方。ただし、60歳以上の配偶者とともに入居する方はこの限りではない。
 3. 日常生活を営むのに介助を必要としない方。
 4. 共同生活に適応できる方。
 5. 所定の使用料その他の費用を負担することができる方。
 6. 確実な保証能力を有する身元引受人が立てられる方。



- 募集人数 3名
- 場 所 別海町別海寿町51番地
- 部 屋 トイレ・洗面台・簡易キッチン・洋服ダンス・電話テレビ回線・緊急通報装置が備え付けられた個室
- 利用料金 66,500円～146,500円の間で、前年の収入に基づき決定します（食事代含む）
- 応募期間 令和5年1月16日(月)～1月25日(水) 午前10:00～午後5:00
- 申し込み 入居申請に必要な書類を配布していますので、詳しくはお問合せください。
お問合せ／別海町ケアハウスみどり野
Tel0153-75-1331（午前10:00～午後5:00）

献血のご協力ありがとうございました



日 時	採 血 場 所	受 付	不採血	200ml	400ml	採血者数
10月12日	JA道東あさひ本所兼別海支所	24	4	0	20	20
	中 春 別 農 業 協 同 組 合	19	2	0	17	17
	北 海 道 別 海 高 等 学 校	15	2	6	7	13
10月13日	JA道東あさひ上春別支所	8	1	0	7	7
	(株) 明 治 西 春 別 工 場	6	0	0	6	6
	JA道東あさひ西春別支所	20	1	0	19	19
10月14日	別 海 町 役 場	56	6	2	48	50
10月19日	陸 上 自 衛 隊 別 海 駐 屯 地	49	4	2	43	45
合 計		197	20	10	167	177



献血Webサービス「ラブラット」 献血カードのアプリができました！

ラブラットのサイトは
こちらから
<https://www.jrc.or.jp/donation/club/>

- ★会員登録★
- 全国の献血会場（一部を除く）のWebやアプリでの予約が可能になります
 - ポイントを貯めて記念品と交換できます
 - 血液の検査結果等を含む血液記録が献血後数日でWebやアプリにて確認できます
 - 過去の献血記録が確認できます（平成17年4月以降）
 - メールやLINEで会員限定のお知らせやご案内、献血の依頼等が届きます
 - 住所などの変更やWebアプリ上で可能になります